



仙台市リサイクル  
シンボルマーク  
「メビウスちゃん」



● 編集・発行 仙台市環境局廃棄物管理課  
● 電話 214-8227

### あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

こんにちは推進員さん	1P
研修レポート	2P
仙台市環境局からのお知らせ	3~4P



▲集積所に備え付けのペットボトルのふた入れは他町内会の事例から学んだもの。集まったふたは回収事業を行っている民間企業に提供しているそうです

積所排出実態調査を総勢33名で実施しました。

また、普段は推進員とメイトで見回っている集積所の状況をより多くの町内の人知ってもらおうと、班長さん方にも協力を募り、ごみ集積所排出実態調査を総勢33名で実施しました。

太白区の下前田上町内会は、推進員5名とメイト13名が活動している町内会。今回、取材をお願いしたところ、13名もの方々にお話を伺うことができました。

こちらの町内会では、一部の人だけで活動するのではなく、毎回参加ができなくてもみんなが分担してやっていけるよう広く協力を呼びかけるようにしています。何かあれば町内会の総務の方を通して町内会員にその都度回覧で呼びかけ、参加できる人の協力を得ています。推進員やメイトの数も年々増やして個人の負担を減らすようにしているそうです。



▶お話を聞かせていただいた下前田上町内会の皆さん

協力いただいた方々を3班に分けて、9つの集積所を調査したそうです。こうして年に一度でも集積所の実態を知る機会をつくることで、皆さんのごみ分別に対する意識を高め、さらには口伝えなどで各班の住民へと波及する効果を狙っているとのこと。

「周辺町内会に比べるとこちらは小規模な町内会。だからこそみんなで力をあわせて色々な活動をやるんだと思います。私たちの町内会は皆さん協力的で助かっています。私たちの町内会は皆様に協力的で助かっています。私たちの町内会は皆様に協力的で助かっています。」と笑顔で語らる様子を、町内で結束して取り組むことの大切さを教えていただきました。

こんにちは推進員さん  
みんなで参加することで、広まる  
集積所への関心  
【太白区】下前田上町内会

## 年末年始のお知らせ

### ◆「家庭ごみ」、「プラスチック製容器包装」、「缶・びん・ペットボトル・乾電池類」、「紙類」の収集について

年末最後と年始最初の収集日を、市政だより(12月号)や仙台市ホームページでお知らせしています。

また、町内会等の担当の方(回覧物等の送付先として申し出いただいた方)に、回覧用チラシとごみ集積所への掲示用ポスター(右図)を11月下旬に郵送いたしました。地域の方への周知にご協力ください。

(問) お住まいの区の環境事業所(連絡先は下記参照)



### ◆資源回収庫での紙類・布類の回収について

市民センター、リサイクルプラザ、若林体育館、泉総合運動場の資源回収庫は、年末は12月27日(日)まで、年始は1月5日(火)からとなります。

区役所・総合支所、環境事業所、沖野コミュニティセンターは、年末は12月28日(月)まで、年始は1月4日(月)からです。

秋保・里センターは年中無休(ただし、12月31日から1月3日までの利用時間は9時~17時)です。

### ■資源回収庫への紙類・布類の出し方

紙類:①新聞・折込チラシ、②段ボール、③紙パック、④雑誌、⑤雑がみの5分別にし、ひもで十文字にしっかり縛る。

※ビニール袋には入れないでください。

布類:洗濯した後(ぬれたものは乾かしてから)、中身の見える透明な袋に入れ、袋の口を縛る。

### ■次のものは回収しません

布団・座布団、マットレス、作業服、制服、雨具、カーペット、革製品など

### <資源回収庫の設置施設>

青葉区	宮城総合支所、大沢市民センター、落合市民センター、折立市民センター、貝ヶ森市民センター、柏木市民センター、福沢市民センター、水の森市民センター、葛岡リサイクルプラザ
宮城野区	宮城野区役所、幸町市民センター、高砂市民センター、福室市民センター、宮城野環境事業所
若林区	若林区役所、七郷市民センター、若林市民センター、沖野コミュニティセンター、若林体育館、今泉リサイクルプラザ
太白区	秋保総合支所、八本松市民センター、東中田市民センター、茂庭台市民センター、山田市民センター、秋保・里センター、太白環境事業所
泉区	泉区役所、加茂市民センター、松陵市民センター、高森市民センター、寺岡市民センター、根白石市民センター、松森市民センター、南中山市民センター、泉総合運動場、泉環境事業所

※利用時間は9時~16時半(秋保・里センターは9時~18時)

(問) ごみ減量推進課 214-8229

### ☆☆五つ星集積所診断を実施しました☆☆

環境局職員がプロの目で集積所を診断する、五つ星集積所診断。今年度(11月1日現在)は52カ所の集積所の応募があり、うち41カ所が五つ星、10カ所が四つ星、1カ所が三つ星に認定されました。

たくさんのご応募をありがとうございます。  
(問) 廃棄物管理課 214-8227

### 環境事業所の電話番号

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300

研修レポート  
推進員を対象に、各種  
学習会を開催しました

推進員活動を行ううえで必要な知識や手法を身に付けていただくとともに、推進員同士の交流や情報交換を目的に、各区環境事業所や廃棄物管理課では学習会を実施しています。

◆分別講座(各区で実施)

自らがごみの分別ルールを正しく知ることは推進員活動の第一歩。8月から9月にかけて、各区の環境事業所が分別研修会を開催し、5区で約280名の推進員の皆さんにご参加いただきました。

学習会のメインは、ごみ分別体験。「分別キット」(家庭から出るごみの多いごみを想定)を使用し、実際に「紙類」「プラスチック製容器包装」「缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類」「家庭ごみ」の4つに分別し、答え合わせをします。普段の自分のごみの出し方と市のルールを照らし合わせ

せて、初めて気付いたことも多かったようで、どの区でも環境事業所職員の説明に驚きの声が続いてきました。また、区によってその他の内容は様々で、推進員制度やごみ減量に関する動画をスライドを使って説明したり、3RについてのDVDを鑑賞したり、クイズ形式で楽しみながらごみの減量や資源のリサイクルについて学んだりしました。



▲青葉区の分別研修会の様子。実際にごみを分けることでより分別の知識が深まります

◆初心者研修(1・2日目)

今年の7月に推進員になったばかりの方を対象に、9月から11月にかけて初心者研修を実施しまし

た。

この研修は1日目・2日目に推進員としてどのように活動したらよいかを座学形式で学んだり、グループワーク形式で課題を考え、3日目にリサイクル施設を見学するものとなっています。

1日目はまず推進員の役割について環境局から説明し、講師の遠藤智栄さん(地域社会デザイン・ラボ代表)から活動のポイントや住民に働きかけるコツ等の講義をうけた後、各テーブルで地域のごみ問題などについてグループワークをするという流れでした。

2日目は長年推進員が活躍されている町内会の事例紹介と、1日目の班とは違うメンバーでのグループワークが主なプログラムでした。事例紹介では、泉区向陽台二丁目町内会の推進員の飯野さんと押野さんから町内会独自に「クリーン月間」を定め、子ども会と連携しながら町内の小学生を対象に「ごみの出し方」のポスターコンテストを実施している

事例をお話いただきました。参加者のアンケートからは「事例がためになった」「グループワークで他の地域の話が聞けて参考になった」という感想をいただいたほか、他の地域の方との交流や悩みの共有の中で活動のヒントを掴んだ方も多かったようです。



▲講師の遠藤智栄さん(右)と、向陽台二丁目町内会の推進員、飯野泰康さん(中央)と押野孔一さん(左)。対談方式で事例を紹介しました

今年度は他にも、広報研修(推進員の皆さまには案内・申込チラシをこのメビウス通信に同封しています)、排出実態調査の報告会を企画しておりますので、ぜひご参加ください。  
※3日目の施設見学のレポートは70号に掲載予定です

仙台市環境局  
かみのめがせ

◆素敵な賞品を当てよう！伊達な節電所キャンペーン

ご家庭や事業所で昨年同時期に比べて削減した「電気使用量」を応募する「伊達な節電所キャンペーン」を実施中です。太陽光発電を行っているご家庭・事業所では「売電量」の応募もできます。

電力会社から届く「電気ご使用量のお知らせ」や「購入電力量のお知らせ」を「コピー」で郵送、またはFAXで応募してください。ご家庭部門では毎月10名に缶コーヒースセットをプレゼントします。さらに複数月の応募で、サーキュレーターやパック米が当たるダブルチャンスもあります。

また、節電のココロを伝える「節電川柳」も募集していますので、こちらもぜひご応募ください。

参加方法等の詳細は、市役所1階「市民のへや」、各区役所、総

合支所などで配布するチラシや、仙台市環境ウェブサイト「たまきさん(http://www.tamakijp.jp)」をご覧ください。

(問)環境共生課 214・0007

◆せんだい生態系再生コンソーシアムシンポジウム「井土浦・藤塚発信」

せんだい生態系再生コンソーシアムは、平成24年の設立以来、東日本大震災により被災した仙台海浜の生態系が再生していく状況を見守り、また市民の皆さんと一緒に、若林区の井土浦や藤塚の海岸周辺を観察しつつ、井土浦・藤塚地区の魅力あるもの、大事なものと感じたものをまとめた「井土浦・藤塚マップ」案を作成してきました。

今回のコンソーシアムではマップの完成に向けて、市民の皆さんにマップ案を発表し意見を募る「井土浦・藤塚マップ案発表会」を行うほか、風見正三・せんだい生態系再生コンソーシアム運営副委員長(宮城大学事業構想学部副学部長)の講演

を予定しています。ぜひご参加ください。

●日時 平成28年1月24日(日)13時から15時まで

●場所 仙台市市民活動サポートセンター6階 セミナーホール

(仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

●定員 市内にお住まいの方80名(先着)

●申し込み方法 件名「コンソーシアム・シンポジウム」と記入の上「お名前」「参加人数」「住所」「連絡先」を下記まで送信して下さい。

●申し込み受付期間 1月6日(水)から15日(金)まで

●申し込み先 せんだい生態系再生コンソーシアム事務局

(Email: info@tohoku-sdi.or.jp)

または仙台市環境局環境共生課へ

(TEL) 214・0013、  
FAX 214・0588(0)  
(問)環境共生課 214・0013

学習机フェアを実施します

会場	展示期間	抽選日	展示台数
葛岡 リサイクル プラザ	①12/19(土)~1/10(日) (12/28~1/4は除く) ②1/23(土)~2/7(日)	①1/11(月・祝) ②2/8(月)	各回 20台
今泉 リサイクル プラザ	①12/5(土)~12/13(日) ②1/9(土)~1/17(日)	①12/14(月) ②1/18(月)	各回 12台

リサイクルプラザでは、小学校に新入学するお子さんたちを応援するため、市民の皆さまから提供された学習机を一挙に展示・お譲りする学習机フェアを開催いたします。この機会にぜひリサイクルプラザにご来館ください。

- 対象 市内にお住いの18歳以上の方
- 申し込みは各会場・期間につき1人1点まで
- 学習机はリサイクル品です

(問)葛岡リサイクルプラザ 電話: 277-8573  
今泉リサイクルプラザ 電話: 289-6401